

問1 博物館へ見学に行くとき、最も大切なことは何ですか。

1. 売店でたくさんのお土産を買うこと
2. 事前に調べたい内容を決めておくこと
3. 館内の写真をすべて撮ること
4. 友達とたくさんおしゃべりすること

問2 現地で見つけたことや疑問に思ったことを、あとで整理できるように記録する工夫として適切なものはどれですか。

1. デジタルカメラで写真を撮り、メモを取る
2. 何も記録せずに、すべて頭の中だけで覚える
3. その場で感じたことだけを心にとどめる
4. 有名な観光地で売っているお土産を買う

問3 地域の歴史を調べるために、現地へ行く前に行う大切な準備は何ですか。

1. カメラを持たずに歩き回って記憶する
2. きれいな写真をたくさん撮る練習をする
3. 見学場所や歩くルートを決めて計画を立てる
4. その地域に住んでいる人全員にインタビューする

問4 博物館で見学した内容をしっかりと理解するために、展示物を見ながら行うと良いことは何ですか。

1. 館内のすべてを走り回って探検する
2. パンフレットの絵をすべて塗りつぶす
3. 展示物について学芸員に質問したり、メモを取ったりする
4. 展示物に直接さわって確かめる

問5 焼き物を作る時、粘土をこねて形を作ったあと、かまで焼く前に必ずしなければならない大切なことは何でしょうか。

1. 水に長くつけておく
2. 粘土を細かくくたく
3. しっかり乾燥（かんそう）させる
4. かまの温度をさげる

問6 歴史的な資料や展示物を見学するために、地域にあるどのような場所へ行くのが効果的ですか。

1. 駅やバスターミナル
2. スーパーマーケット
3. 郵便局
4. 資料館や博物館

問7 職人が長い時間をかけて修行をする一番の目的は何ですか。

1. 早く給料をもらうため
2. 流行の新しいデザインを作るため
3. 確かな技術を身につけて継承するため
4. 道具を安く買うため

問8 古い建物や町並みを「文化財」として大切に残すことで、どのような良いことがあると考えられますか。

1. 町の中にたくさんの工場を建てることのできる
2. 新しいビルを建てる場所が広がる
3. 古い建物に住む人の家賃が安くなる
4. その土地の歴史や誇りを大切にしたら、特色あるまちづくりができる

問9 地域の歴史をより深く、正しく調べるために一番大切なことはどれですか。

1. 様々な場所や人から、いろいろな方法で情報を集める
2. 図書館の本だけを読んで調べる
3. 資料館には行かず、自分ひとりで考える
4. インターネットの情報だけを信じてまとめる

問10 歴史ある建物を、長い間そのままの姿で残すために欠かせない活動を何といますか。

1. 修正
2. 修理
3. 修学
4. 修業

問11 昔の村の開発の様子を調べるとき、なぜ「聞き取り」や「古い道具」など、いろいろな方法を組み合わせる必要があるのでしょうか。

1. 調べ方を変えることで、昔の人のくらしをより深く、正確に知るため
2. 古い道具を集めると、地域の歴史にお金に変えることができるから
3. 昔の人の考え方は、本に書いてあることと決まっているから
4. 写真や地図だけでは、建物がいつ建てられたか分からないから

問12 その土地にとって歴史的に価値があり、大切に守られている古い建物や町並みのことを何といいますか。

1. 公共施設
2. 文化財
3. 特産品
4. 観光地

問13 地域の昔の様子を、当時を知る人から直接聞くための方法はどれですか。

1. インターネットで検索する
2. 地域の人にインタビューを行う
3. 図書館で歴史の本を探す
4. 観光パンフレットを読む

問14 世界的に見て、とても価値が高いと認められて登録されるものを何といいますか。

1. 歴史公園
2. 重要文化財
3. 町並み保存地区
4. 世界遺産

問15 焼き物ができるまでの正しい手順として、適切なものはどれでしょうか。

1. かまで焼く → 粘土をこねる → 乾燥させる
2. 乾燥させる → 粘土をこねる → かまで焼く
3. 粘土をこねる → 乾燥させる → かまで焼く
4. 粘土をこねる → かまで焼く → 乾燥させる

問16 地域の人々が、歴史ある建物や町並みをいかして「まちづくり」をする一番の目的は何ですか。

1. 地域の住人だけが楽しむ場所にするため
2. 地域の歴史や魅力を多くの人に伝えるため
3. 昔の建物すべてを新しい材料で作りに変えるため
4. 町を新しいビルでいっぱいにするため

問17 美しい姿で有名な姫路城を、ずっと後の時代まで残すために、1878年に国へ「このお城を守るべきだ」と意見を出した人物はだれでしょうか。

1. 豊臣秀吉
2. 中村重遠
3. 織田信長
4. 徳川家康

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 事前に調べたい内容を決めておくこと	博物館での学びを深めるためには、ただ展示物を眺めるだけでなく、あらかじめ自分が何を知りたいのかという目的をはっきりさせておくことが重要です。目的があることで、案内板を確認したり、必要な情報を効率よく集めたりすることができます。
問2	答え 1 デジタルカメラで写真を撮り、メモを取る	現地で得た情報を正確に残すためには、写真で視覚的に記録し、気づいたことや疑問をメモしておくことが重要です。これらの記録を後から見返すことで、地域の歴史や特徴を詳しくまとめることができます。
問3	答え 3 見学場所や歩くルートを決めて計画を立てる	現地調査をスムーズかつ安全に行うためには、事前に地図を見てどこを回り、どのような順番で歩くかという計画を立てることが欠かせません。計画がしっかりしていないと、効率的に情報を集めることが難しくなります。
問4	答え 3 展示物について学芸員に質問したり、メモを取ったりする	展示資料を見るだけでなく、気がついたことをメモしたり、スケッチを描いたりすると理解が深まります。さらに、わからないことを専門家である学芸員に質問することは、より深く歴史や資料について知るための非常に効果的な方法です。
問5	答え 3 しっかり乾燥（かんそう）させる	形を作った直後の粘土は水分を多く含んでいるため、そのままかまに入れて焼くと、水分が急に熱せられて膨張し、割れたり破裂したりしてしまいます。そのため、かまで焼く前に、風通しの良い場所などでしっかりと乾燥させることがとても大切です。
問6	答え 4 資料館や博物館	資料館や博物館には、その地域で昔使われていた道具や、歴史的な出来事に関する品物が大切に保管されています。本物を実際に見たり、専門家から詳しい話を聞いたりすることができるため、歴史を学ぶのに最適な場所です。
問7	答え 3 確かな技術を身につけて継承するため	修行は単にお金を稼ぐための労働ではなく、師匠から高度な技を学び、自分自身のものにするためのプロセスです。その土地に伝わる大切な技術を次世代へしっかりと伝えていくことが、修行の大きな目的です。
問8	答え 4 その土地の歴史や誇りを大切にしたい、特色あるまちづくりができる	文化財を保存することは、ただ古いものを残すだけではありません。その場所の歴史や文化を大切にすることで、その土地ならではの良さを生かした、特色ある魅力的なまちづくりを進める力になります。
問9	答え 1 様々な場所や人から、いろいろな方法で情報を集める	一つの方法だけでは、情報が偏ったり、古い情報だったりすることがあります。図書館の本、インターネット、資料館の展示、そして実際に地域の人へのインタビューなど、多くの手段を組み合わせることで、地域の歴史をより正確に深く知ることができます。
問10	答え 2 修理	建物は時間がたつにつれて古くなり、傷んでしまうことがあります。そのため、専門的な技術を使って手入れを行い、良い状態を保つ活動を「修理」といいます。掃除をしてきれいに保つこととは違い、建物の形や仕組みを長持ちさせるための大切な作業です。
問11	答え 1 調べ方を変えることで、昔の人の暮らしをより深く、正確に知るため	写真や現在の地図などの一部の情報だけでは、開発が進められた本当の理由や、当時の人々の苦労や思いまでは分かりません。多角的に資料を集めることで、当時の社会がどのような様子だったのか、なぜ開発が必要だったのかという背景を、広い視野で深く理解できるようになります。
問12	答え 2 文化財	地域に残る古い建物や町並みなど、歴史的に価値があって、みんなで大切に守っていくべきものを「文化財」といいます。これらは、その土地の歴史を知るための大切な宝物です。
問13	答え 2 地域の人にインタビューを行う	本やインターネットには記録されていない、その人だけが知っている昔の暮らしや出来事の話を知ることができます。直接お話を聞くことで、当時の人々の気持ちや様子をより身近に感じることができます。
問14	答え 4 世界遺産	文化財の中でも、特に世界中で価値が認められたものを「世界遺産」と呼びます。世界遺産に選ばされると、世界中の人々がその価値を知り、より大切に保存しようとする動きが高まります。
問15	答え 3 粘土をこねる → 乾燥させる → かまで焼く	焼き物は、まず柔らかい粘土をこねて好きな形を作り、そのあとにしっかりと乾燥させることが重要です。水分が抜けて形が安定してから高温のかまに入れることで、丈夫な焼き物が完成します。この順番を間違えると、うまく形が残らなったり割れたりしてしまいます。
問16	答え 2 地域の歴史や魅力を多くの人に伝えるため	歴史的な建物や町並みをいかしたまちづくりは、その土地が持つ独自のよさを多くの人に知ってもらうために行われます。地域の人が昔の衣装を着たり、建物の説明をしたりすることで、訪れる人々にその土地の歴史や魅力をより深く感じてもらうことができます。
問17	答え 2 中村重遠	中村重遠は、荒れ果てかけていた姫路城を大切に保存しようとして立ち上がり、国に働きかけました。この行動がきっかけとなり、姫路城は長い年月を経てもその美しい姿を保つことができ、後の世界遺産登録へとつながっていきました。